

第7節 泉州二次医療圏

1. 外来医療体制（全般）

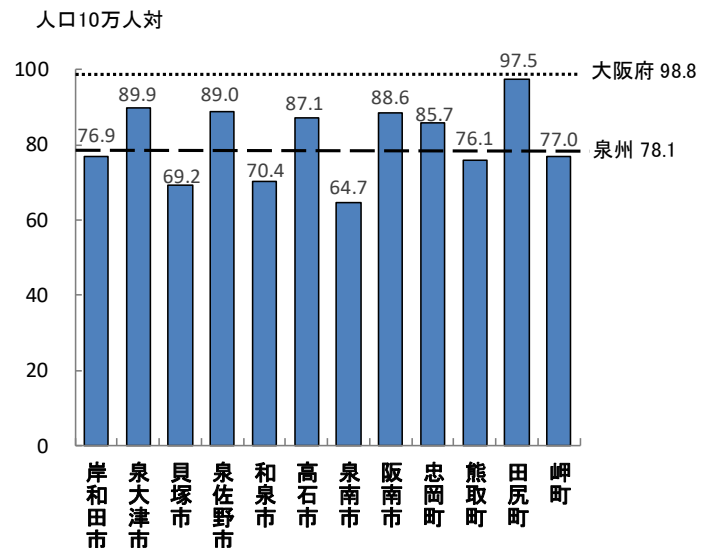
（1）医療機関の設置状況

【外来医療機関数】

○令和3年10月1日現在、外来医療機関数は、一般診療所が680施設（平成30年には668施設）、病院が73施設（同76施設）となっており、一般診療所では人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-7-1 外来医療機関数(令和3年)

市町村	一般診療所		病院		合計	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
岸和田市	144	89.4%	17	10.6%	161	100%
泉大津市	66	94.3%	4	5.7%	70	100%
貝塚市	57	87.7%	8	12.3%	65	100%
泉佐野市	88	88.0%	12	12.0%	100	100%
和泉市	129	90.8%	13	9.2%	142	100%
高石市	48	90.6%	5	9.4%	53	100%
泉南市	38	84.4%	7	15.6%	45	100%
阪南市	44	93.6%	3	6.4%	47	100%
忠岡町	14	93.3%	1	6.7%	15	100%
熊取町	33	94.3%	2	5.7%	35	100%
田尻町	8	100%	0	0%	8	100%
岬町	11	91.7%	1	8.3%	12	100%
泉州	680	90.3%	73	9.7%	753	100%
大阪府	8,680	94.5%	509	5.5%	9,189	100%

図表 3-7-2 人口10万人対外来医療機関数
【一般診療所】(令和3年)

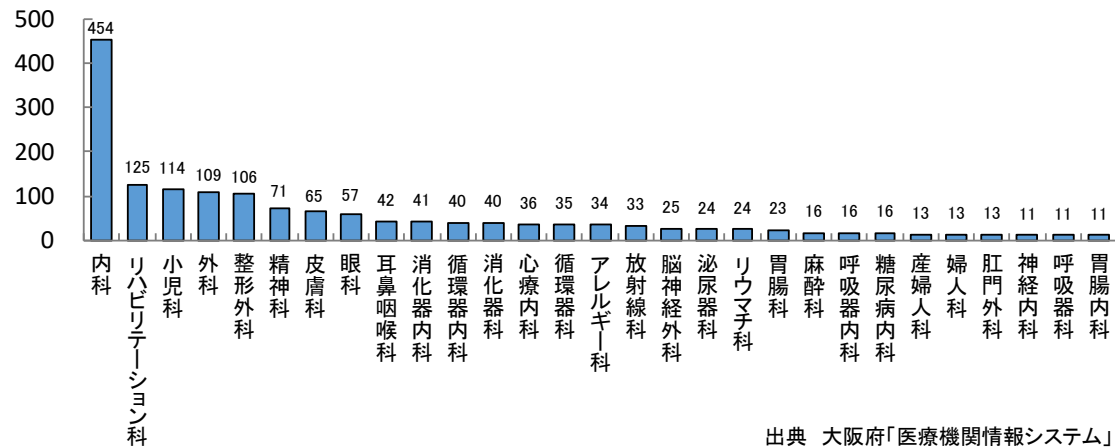
出典 厚生労働省「医療施設動態調査」

※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部
「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【診療科別の設置状況(一般診療所)】

○令和5年10月1日現在、一般診療所の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が454施設（総数の66.8%）で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」125施設（同18.4%）、「小児科」114施設（同16.8%）となっています。

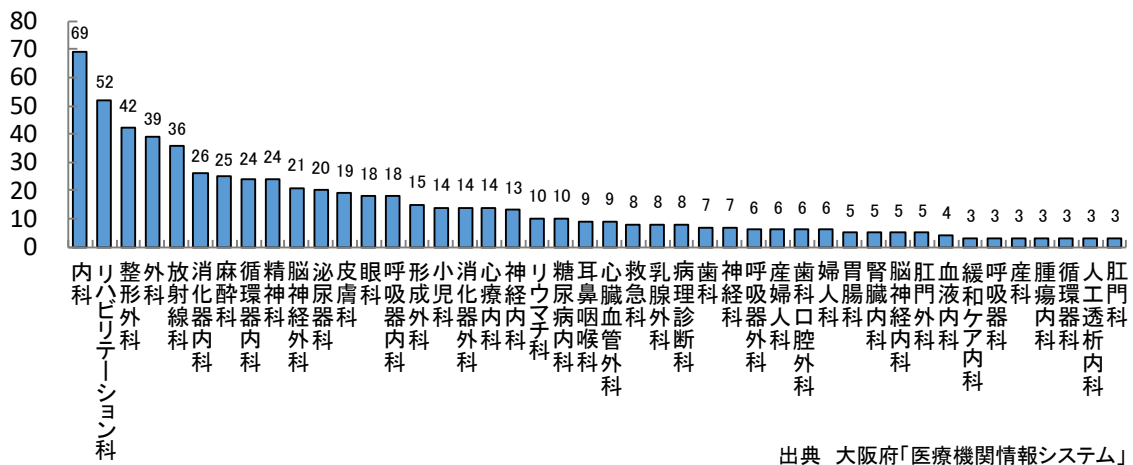
図表 3-7-3 診療科別の設置状況(標榜が10施設以上の診療科のみ)【一般診療所】(令和5年)



【診療科別の設置状況(病院)】

○令和5年10月1日現在、病院の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が69施設(総数の94.5%)で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」52施設(同71.2%)、「整形外科」42施設(同57.5%)となっています。

図表 3-7-4 診療科別の設置状況(標榜が3施設以上の診療科のみ)【病院】(令和5年)



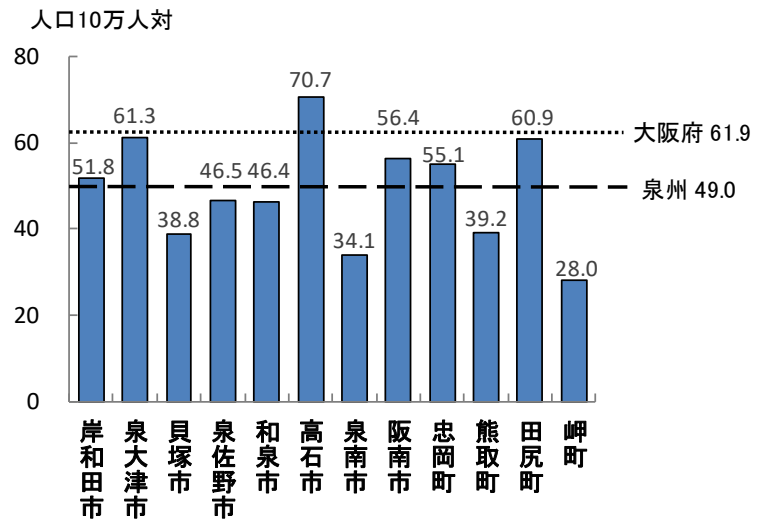
【歯科診療所数】

○令和3年10月1日現在、歯科診療所数は、427施設（平成30年には441施設）となっており、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-7-5 歯科診療所数(令和3年)

市町村	歯科診療所
	施設数
岸和田市	97
泉大津市	45
貝塚市	32
泉佐野市	46
和泉市	85
高石市	39
泉南市	20
阪南市	28
忠岡町	9
熊取町	17
田尻町	5
岬町	4
泉州	427
大阪府	5,442

図表 3-7-6 人口10万人対歯科診療所数(令和3年)



出典 厚生労働省「医療施設動態調査」
※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

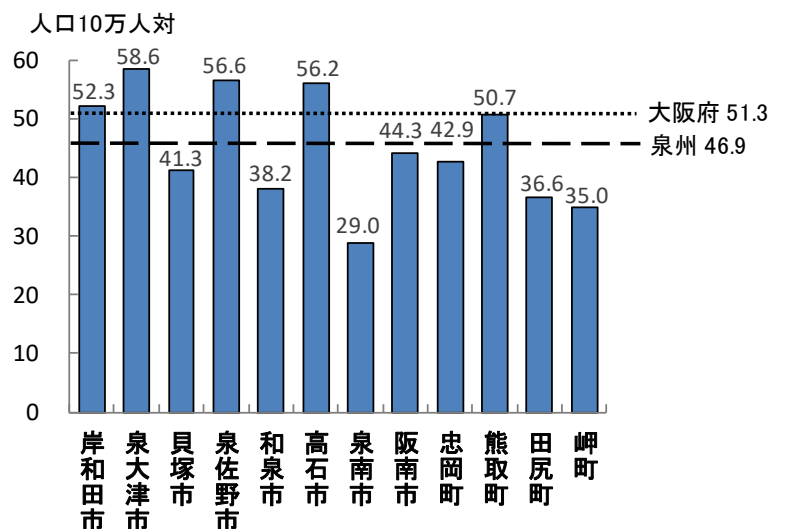
【薬局数】

○令和5年9月1日現在、薬局数は、408施設（令和元年には371施設）となっており、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-7-7 薬局数(令和5年)

市町村	薬局
	施設数
岸和田市	98
泉大津市	43
貝塚市	34
泉佐野市	56
和泉市	70
高石市	31
泉南市	17
阪南市	22
忠岡町	7
熊取町	22
田尻町	3
岬町	5
泉州	408
大阪府	4,510

図表 3-7-8 人口10万人対薬局数(令和5年)



出典 近畿厚生局「保険医療機関・保険薬局等の管内指定状況等について」
※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【開設・廃止等の状況】

○令和元年 10 月から令和 2 年 9 月までの 1 年間における一般診療所の新規開設数は、21 施設、廃止数は 23 施設、病院の新規開設数は 1 施設、廃止数は 3 施設となっています。

図表 3-7-9 開設・廃止等施設数(令和元年から令和2年)

市町村	一般診療所				病院			
	開設	廃止	休止	再開	開設	廃止	休止	再開
岸和田市	2	5	2	1	0	0	0	0
泉大津市	0	1	0	0	0	0	0	0
貝塚市	1	4	0	0	0	1	0	0
泉佐野市	8	2	0	0	0	0	1	0
和泉市	4	2	0	0	1	2	0	0
高石市	1	3	0	0	0	0	0	0
泉南市	0	1	0	0	0	0	0	0
阪南市	1	0	0	0	0	0	0	0
忠岡町	1	1	0	0	0	0	0	0
熊取町	0	1	1	1	0	0	0	0
田尻町	3	3	1	0	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0	0	0	0	0
泉州	21	23	4	2	1	3	1	0
大阪府	348	285	86	24	5	6	1	1

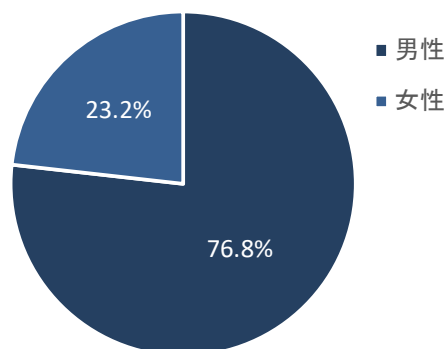
出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」

(2) 外来に従事する医師

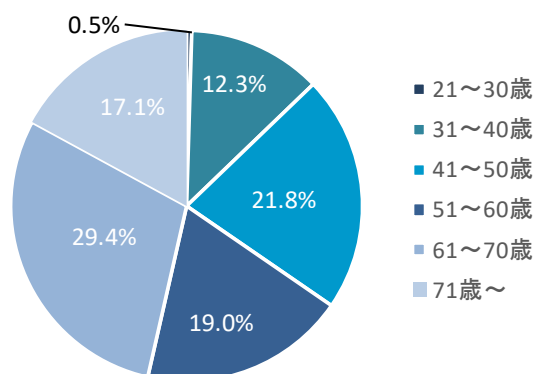
【性年齢別の医師の従事状況】

○令和 5 年 7 月 1 日現在、一般診療所における勤務医師の男女比は、男性 76.8%、女性 23.2%（令和元年には 78.5%、21.5%）となっており、年齢別にみると 51 歳以上の医師の割合が 65.5%（同 53.8%）となっています。

図表 3-7-10 医師(常勤・非常勤)の従事状況の男女割合【一般診療所】(令和5年)

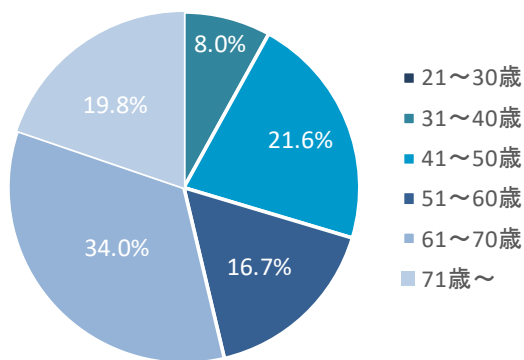


図表 3-7-11 医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)

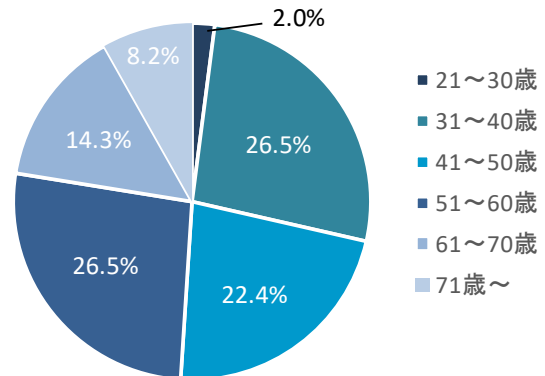


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

図表 3-7-12 男性医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)



図表 3-7-13 女性医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)

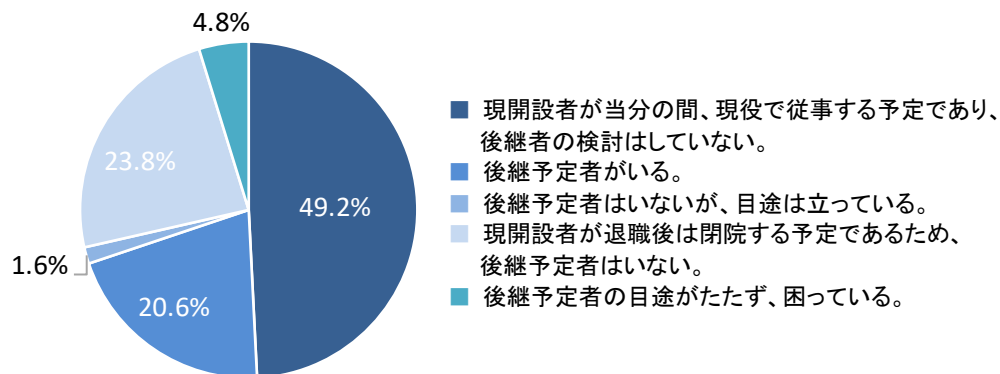


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【一般診療所の後継者の状況】

○令和5年7月1日現在、後継予定者の目途が立たず困っている一般診療所は全体の4.8%（令和元年には6.8%）となっています。

図表 3-7-14 後継者の有無【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

(3) 外来患者の受入れ状況

【外来患者延べ数】

○令和元年度における外来患者延べ数は、一般診療所が7,629,947人（平成29年度には7,685,675人）、病院が2,904,375人（同2,841,896人）となっています（出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」）。

【1医療機関当たりの推計外来患者延べ数】

○令和5年5月の1か月間から推計した、1医療機関当たりの外来患者延べ数は、一般診療所が1,253.5人（令和元年には1,762.9人）、病院が3,749.2人（同4,752.6人）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【外来での患者の待ち時間の状況】

○令和5年7月1日現在、患者一人当たりの待ち時間が平均60分を超えている医療施設の割合は、一般診療所が20.3%、病院が13.3%となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【紹介状の持参の有無と外来対応の負担感の状況】

○令和5年7月1日現在、紹介状を持参しない初診の外来患者が増えている病院は5施設（調査回答施設合計の27.8%）で、うち、1施設が、外来対応を負担に感じる医師が多くなっていると回答しています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

（4）医療・介護施設等との連携

【一般診療所の医療・介護施設等との連携】

○令和5年10月1日現在、一般診療所において、病院との連携は全体の38.2%（令和元年には35.9%）、他の一般診療所との連携は21.8%（同18.8%）、歯科診療所との連携は7.9%（同4.7%）、薬局との連携は28.9%（同22.9%）、訪問看護ステーションとの連携は30.2%（同26.0%）、居宅介護支援事業所との連携は21.5%（同18.8%）となっています。

図表 3-7-15 連携機関の状況【一般診療所】（令和5年）

市町村	連携先機関												一般診療所	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護 ステーション		居宅介護 支援事業所			
	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合
岸和田市	59	40.1%	35	23.8%	14	9.5%	46	31.3%	47	32.0%	38	25.9%	147	100%
泉大津市	30	42.9%	14	20.0%	4	5.7%	20	28.6%	24	34.3%	15	21.4%	70	100%
貝塚市	17	29.8%	11	19.3%	4	7.0%	13	22.8%	12	21.1%	8	14.0%	57	100%
泉佐野市	31	34.8%	18	20.2%	7	7.9%	24	27.0%	21	23.6%	15	16.9%	89	100%
和泉市	49	37.7%	24	18.5%	8	6.2%	38	29.2%	39	30.0%	33	25.4%	130	100%
高石市	20	40.0%	11	22.0%	5	10.0%	16	32.0%	17	34.0%	8	16.0%	50	100%
泉南市	18	45.0%	8	20.0%	5	12.5%	11	27.5%	15	37.5%	9	22.5%	40	100%
阪南市	16	37.2%	9	20.9%	3	7.0%	10	23.3%	12	27.9%	7	16.3%	43	100%
忠岡町	6	46.2%	5	38.5%	1	7.7%	5	38.5%	6	46.2%	4	30.8%	13	100%
熊取町	12	36.4%	10	30.3%	3	9.1%	11	33.3%	11	33.3%	8	24.2%	33	100%
田尻町	4	44.4%	3	33.3%	1	11.1%	3	33.3%	2	22.2%	1	11.1%	9	100%
岬町	2	18.2%	3	27.3%	0	0%	3	27.3%	3	27.3%	3	27.3%	11	100%
泉州	264	38.2%	151	21.8%	55	7.9%	200	28.9%	209	30.2%	149	21.5%	692	100%
大阪府	3,928	43.7%	2,309	25.7%	760	8.5%	2,718	30.2%	2,949	32.8%	2,155	24.0%	8,989	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

【病院の医療・介護施設等との連携】

○令和5年 10月1日現在、病院において、他の病院との連携は全体の74.6%（令和元年には65.3%）、一般診療所との連携は63.4%（同57.3%）、歯科診療所との連携は21.1%（同8.0%）、薬局との連携は53.5%（同38.7%）、訪問看護ステーションとの連携は69.0%（同62.7%）、居宅介護支援事業所との連携は69.0%（同65.3%）となっています。

図表 3-7-16 連携機関の状況表【病院】（令和5年）

市町村	連携先機関												病院	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護 ステーション		居宅介護 支援事業所			
	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合	総計	割合
岸和田市	15	88.2%	12	70.6%	4	23.5%	10	58.8%	11	64.7%	13	76.5%	17	100%
泉大津市	3	75.0%	2	50.0%	1	25.0%	1	25.0%	2	50.0%	2	50.0%	4	100%
貝塚市	6	75.0%	6	75.0%	2	25.0%	4	50.0%	7	87.5%	5	62.5%	8	100%
泉佐野市	8	72.7%	7	63.6%	1	9.1%	8	72.7%	7	63.6%	9	81.8%	11	100%
和泉市	7	53.8%	6	46.2%	4	30.8%	5	38.5%	7	53.8%	6	46.2%	13	100%
高石市	4	100%	3	75.0%	0	0%	3	75.0%	3	75.0%	3	75.0%	4	100%
泉南市	5	71.4%	5	71.4%	2	28.6%	4	57.1%	6	85.7%	5	71.4%	7	100%
阪南市	2	66.7%	1	33.3%	0	0%	1	33.3%	2	66.7%	3	100%	3	100%
忠岡町	1	100%	1	100%	1	100%	0	0%	1	100%	1	100%	1	100%
熊取町	1	50.0%	1	50.0%	0	0%	1	50.0%	2	100%	1	50.0%	2	100%
田尻町	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	100%
岬町	1	100%	1	100%	0	0%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
泉州	53	74.6%	45	63.4%	15	21.1%	38	53.5%	49	69.0%	49	69.0%	71	100%
大阪府	357	70.4%	338	66.7%	122	24.1%	264	52.1%	364	71.8%	345	68.0%	507	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

2. 初期救急医療体制

(1) 休日・夜間急病診療所の設置状況

○令和5年9月1日現在、休日・夜間急病診療所は4施設となっています。

図表 3-7-17 休日・夜間急病診療所の設置状況（令和5年9月1日現在）

市町村	医療機関名	診療科目	診療受付時間	
岸和田市	泉州北部小児初期救急広域センター	小児科	平日	—
			土曜日	17:00～22:00
			休日	9:00～12:00
				13:00～16:00 17:00～22:00
貝塚市	貝塚市立休日急患診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～12:00 13:00～16:00
		歯科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～12:00 13:00～16:00
泉佐野市	泉州南部初期急病センター	内科	平日	—
			土曜日	17:30～20:30
			休日	9:30～11:30 12:30～16:30
		小児科	平日(木のみ)	19:30～22:30
			土曜日	17:30～20:30
			休日	9:30～11:30 12:30～16:30
高石市	高石市立診療センター	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	9:00～16:00
		小児科	平日	—
			日曜日	—
			休日	9:00～16:00

出典 大阪府「医療機関情報システム」

【休日・夜間急病診療所への出務有無】

○令和5年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で休日・夜間急病診療所への出務経験のある医師は17.6%となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

(2) 時間外等に診療を行う外来施設数

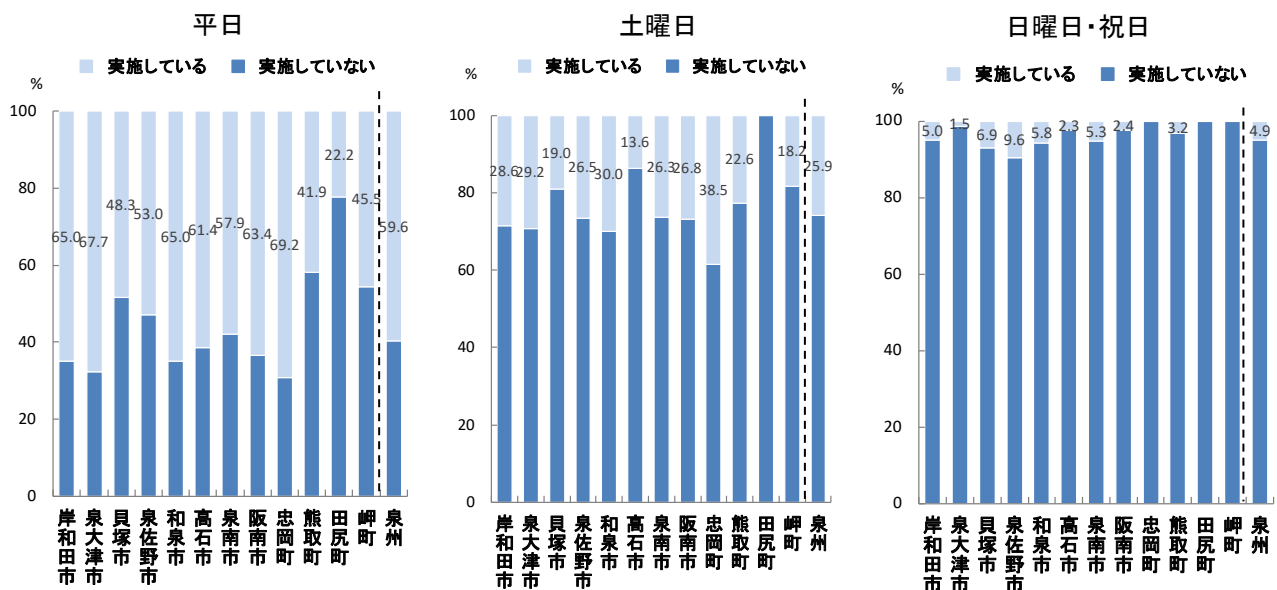
○令和5年7月1日現在、時間外^{注1}に診療している一般診療所は、平日において全体の59.6%（令和元年には58.7%）、土曜日において25.9%（同25.3%）、日曜・祝日において4.9%（同4.4%）となっています。

○夜間^{注2}に診療している一般診療所は、平日において全体の1.4%（令和元年には0.6%）、土曜日において0.6%（同0.1%）、日曜・祝日において0.3%（同0.1%）となっています。

図表 3-7-18 時間外等に診療を行う外来施設数【一般診療所】（令和5年）

市町村	平日（時間外）		平日（夜間）		土曜日（時間外）		土曜日（夜間）		日曜日・祝日（時間外）		日曜日・祝日（夜間）		一般診療所	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
岸和田市	91	65.0%	2	1.4%	40	28.6%	2	1%	7	5.0%	2	1.4%	140	100%
泉大津市	44	67.7%	0	0%	19	29.2%	0	0%	1	1.5%	0	0%	65	100%
貝塚市	28	48.3%	1	1.7%	11	19.0%	0	0%	4	6.9%	0	0%	58	100%
泉佐野市	44	53.0%	1	1.2%	22	26.5%	0	0%	8	9.6%	0	0%	83	100%
和泉市	78	65.0%	0	0%	36	30.0%	0	0%	7	6%	0	0%	120	100%
高石市	27	61.4%	1	2%	6	13.6%	0	0%	1	2%	0	0%	44	100%
泉南市	22	57.9%	3	7.9%	10	26.3%	2	5.3%	2	5.3%	0	0%	38	100%
阪南市	26	63.4%	0	0%	11	26.8%	0	0%	1	2.4%	0	0%	41	100%
忠岡町	9	69.2%	0	0%	5	38.5%	0	0%	0	0%	0	0%	13	100%
熊取町	13	41.9%	1	3.2%	7	22.6%	0	0%	1	3.2%	0	0%	31	100%
田尻町	2	22.2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	9	100%
岬町	5	45.5%	0	0%	2	18.2%	0	0%	0	0%	0	0%	11	100%
泉州	389	59.6%	9	1.4%	169	25.9%	4	0.6%	32	4.9%	2	0.3%	653	100%
大阪府	4,985	58.4%	96	1.1%	3,188	37.4%	47	0.6%	634	7.4%	32	0.4%	8,530	100%

図表 3-7-19 時間外診療の実施状況【一般診療所】（令和5年）



出典 大阪府「医療機関情報システム」

注1 時間外は平日の6時から8時及び18時から22時、土曜日の6時から8時及び12時から22時、日曜日・祝日の6時から22時。

注2 夜間は平日、土曜日、日曜日・祝日ともに22時から6時。

図表 3-7-20 時間外等に診療を行う外来施設数【病院】(令和5年)

市町村	平日(時間外)		平日(夜間)		土曜日(時間外)		土曜日(夜間)		日曜日・祝日(時間外)		日曜日・祝日(夜間)		病院	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
岸和田市	9	52.9%	0	0%	2	11.8%	0	0%	0	0%	0	0%	17	100%
泉大津市	2	50.0%	0	0%	1	25.0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	100%
貝塚市	1	12.5%	0	0%	4	50.0%	0	0%	0	0%	0	0%	8	100%
泉佐野市	5	45.5%	0	0%	2	18.2%	0	0%	0	0%	0	0%	11	100%
和泉市	3	25.0%	1	8.3%	2	16.7%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	12	100%
高石市	2	40.0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	100%
泉南市	3	42.9%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	7	100%
阪南市	1	33.3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	100%
忠岡町	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%
熊取町	1	50.0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	100%
田尻町	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	100%
岬町	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%
泉州	27	38.0%	1	1.4%	12	16.9%	1	1.4%	1	1.4%	1	1.4%	71	100%
大阪府	168	33.5%	5	1.0%	137	27.3%	3	0.6%	12	2.4%	3	0.6%	501	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

(3) 時間外等における外来患者数

【時間外等外来患者延べ数】

○令和元年度における時間外等外来患者延べ数は、一般診療所が 451,963 人（平成 29 年度には 76,529 人）、病院が 101,298 人（同 102,558 人）となっています（出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」）。

【1医療機関当たり1日当たりの時間外等推計外来患者延べ数】

○令和5年5月の1か月間から推計した、1医療機関当たり1日当たりの時間外等患者延べ数は、診療所で 3.4 人（令和元年には 2.0 人）、病院で 5.3 人（同 5.0 人）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

3. 在宅医療提供体制

(1) 在宅医療に関する状況

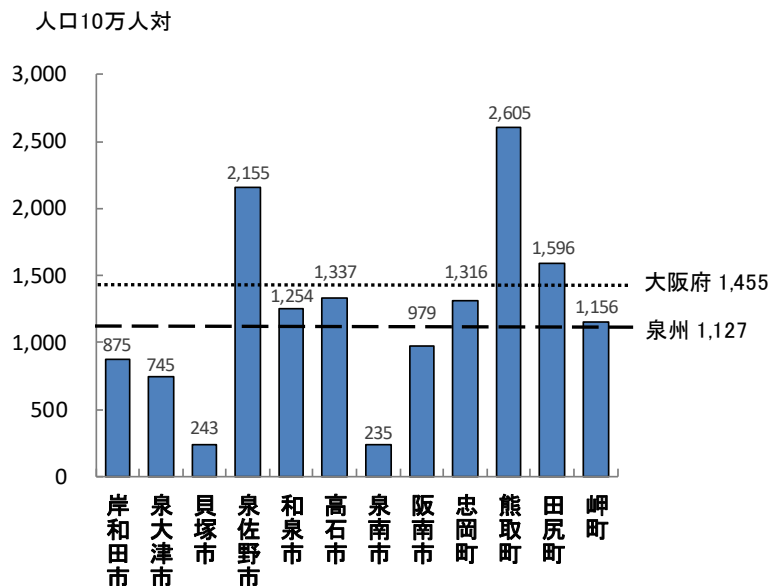
【訪問診療実施件数】

○令和2年9月の1か月間における訪問診療実施件数は、一般診療所が9,816件（平成29年には7,043件）、病院が2,776件（同2,513件）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-7-21 訪問診療実施件数(令和2年9月)

市町村	訪問診療実施件数						訪問歯科 実施件数	
	一般診療所		病院		合計			
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	居宅	施設
岸和田市	1,639	79.4%	424	20.6%	2,063	100%	279	1,754
泉大津市	547	82.6%	115	17.4%	662	100%	69	462
貝塚市	200	41.6%	281	58.4%	481	100%	25	742
泉佐野市	2,132	92.2%	181	7.8%	2,313	100%	83	258
和泉市	2,296	72.7%	864	27.3%	3,160	100%	252	1,926
高石市	737	60.8%	476	39.2%	1,213	100%	42	452
泉南市	138	25.4%	406	74.6%	544	100%	189	893
阪南市	486	97.8%	11	2.2%	497	100%	72	606
忠岡町	215	100%	0	0%	215	100%	3	107
熊取町	1,130	100%	0	0%	1,130	100%	63	274
田尻町	131	100%	0	0%	131	100%	9	46
岬町	165	90.2%	18	9.8%	183	100%	4	58
泉州	9,816	78.0%	2,776	22.0%	12,592	100%	1,090	7,578
大阪府	127,891	88.5%	16,557	11.5%	144,448	100%	18,212	95,249

図表 3-7-22 人口10万人対訪問診療実施件数【一般診療所】(令和2年9月)



出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部
 「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【訪問診療実施施設数】

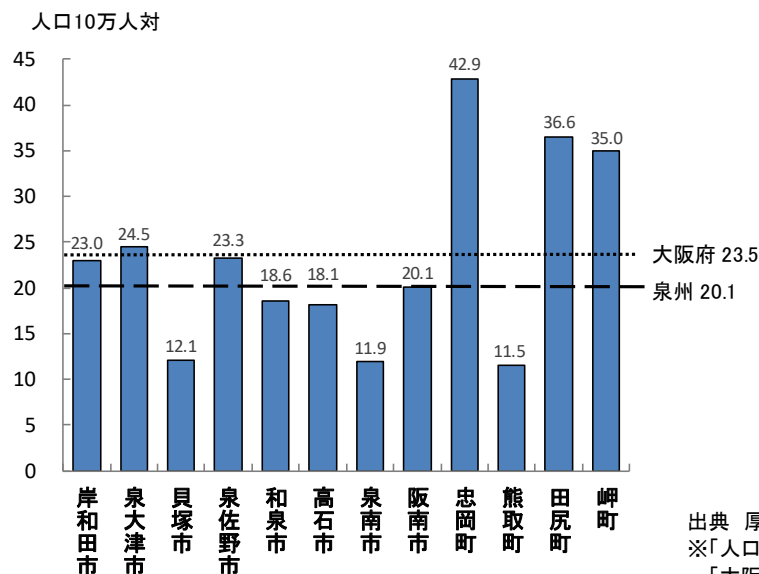
○令和2年10月1日現在、訪問診療実施施設数は、一般診療所が175施設（平成29年には171施設）、病院が32施設（同28施設）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

○一般診療所のうち訪問診療を実施する施設の割合は26.3%、病院のうち訪問診療を実施する施設の割合は43.8%となっています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

図表 3-7-23 訪問診療実施施設数（令和2年）

市町村	訪問診療実施施設数						訪問歯科 実施施設	
	一般診療所		病院		合計			
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	居宅	施設
岸和田市	43	84.3%	8	15.7%	51	100%	17	26
泉大津市	18	90.0%	2	10.0%	20	100%	7	8
貝塚市	10	71.4%	4	28.6%	14	100%	11	9
泉佐野市	23	85.2%	4	14.8%	27	100%	14	12
和泉市	34	87.2%	5	12.8%	39	100%	19	18
高石市	10	76.9%	3	23.1%	13	100%	8	11
泉南市	7	70.0%	3	30.0%	10	100%	8	9
阪南市	10	83.3%	2	16.7%	12	100%	6	6
忠岡町	7	100%	0	0%	7	100%	2	3
熊取町	5	100%	0	0%	5	100%	4	4
田尻町	3	100%	0	0%	3	100%	1	4
岬町	5	83.3%	1	16.7%	6	100%	1	2
泉州	175	84.5%	32	15.5%	207	100%	98	112
大阪府	2,068	91.5%	193	8.5%	2,261	100%	1,070	1,023

図表 3-7-24 人口10万人対訪問診療実施施設数【一般診療所】（令和2年）

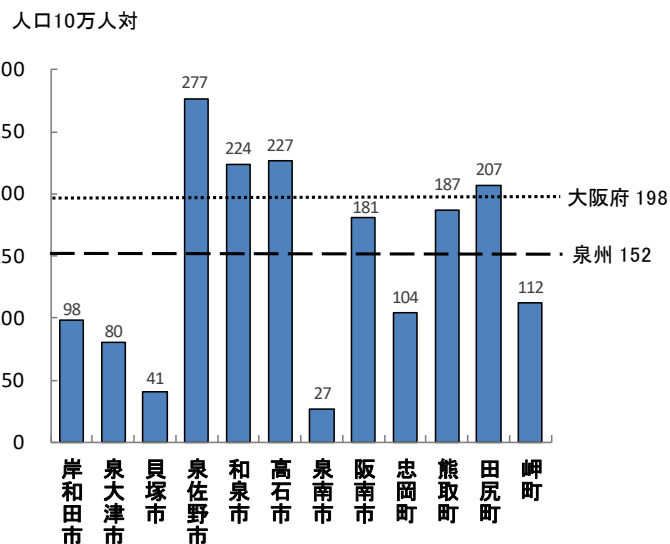


【往診実施件数】

○令和2年9月における1か月間の泉州二次医療圏の往診実施件数は、一般診療所が1,323件（平成29年には1,024件）、病院が99件（同155件）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-7-25 往診実施件数（令和2年9月）

市町村	一般診療所		病院		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
岸和田市	184	91.1%	18	8.9%	202	100%
泉大津市	59	78.7%	16	21.3%	75	100%
貝塚市	34	89.5%	4	10.5%	38	100%
泉佐野市	274	99.6%	1	0.4%	275	100%
和泉市	410	95.6%	19	4.4%	429	100%
高石市	125	88.0%	17	12.0%	142	100%
泉南市	16	48.5%	17	51.5%	33	100%
阪南市	90	92.8%	7	7.2%	97	100%
忠岡町	17	100%	0	0%	17	100%
熊取町	81	100%	0	0%	81	100%
田尻町	17	100%	0	0%	17	100%
岬町	16	100%	0	0%	16	100%
泉州	1,323	93.0%	99	7.0%	1,422	100%
大阪府	17,416	94.4%	1,026	5.6%	18,442	100%

図表 3-7-26 人口10万人対往診実施件数
【一般診療所】（令和2年9月）

出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」
※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部
「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【往診実施施設数】

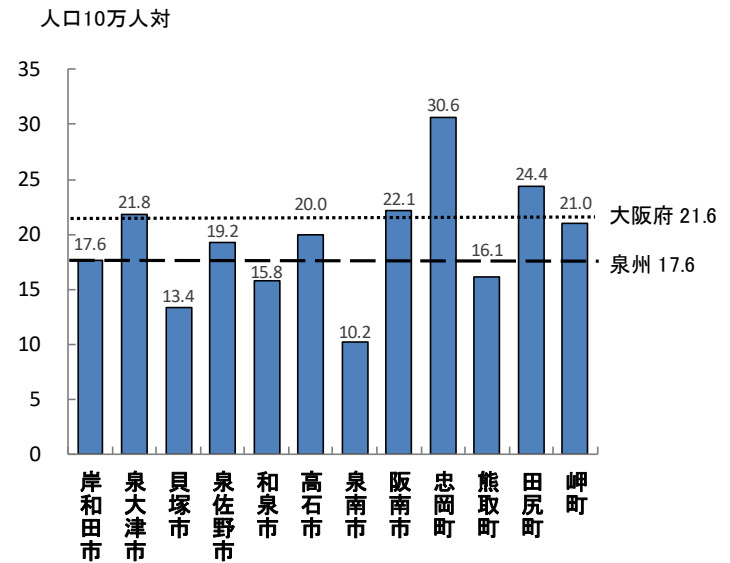
○令和2年10月1日現在、往診実施施設数は、一般診療所が153施設（平成29年には165施設）、病院が18施設（同17施設）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

○一般診療所のうち往診を実施する施設の割合は23.0%、病院のうち往診を実施する施設の割合は24.7%となっています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

図表 3-7-27 往診実施施設数(令和2年)

市町村	一般診療所		病院		合計	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
岸和田市	33	91.7%	3	8.3%	36	100%
泉大津市	16	84.2%	3	15.8%	19	100%
貝塚市	11	84.6%	2	15.4%	13	100%
泉佐野市	19	95.0%	1	5.0%	20	100%
和泉市	29	90.6%	3	9.4%	32	100%
高石市	11	84.6%	2	15.4%	13	100%
泉南市	6	66.7%	3	33.3%	9	100%
阪南市	11	91.7%	1	8.3%	12	100%
忠岡町	5	100%	0	0%	5	100%
熊取町	7	100%	0	0%	7	100%
田尻町	2	100%	0	0%	2	100%
岬町	3	100%	0	0%	3	100%
泉州	153	89.5%	18	10.5%	171	100%
大阪府	1,901	94.8%	104	5.2%	2,005	100%

図表 3-7-28 人口 10 万人対往診実施施設数【一般診療所】(令和2年)



出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」
 ※「人口 10 万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部
 「大阪府の推計人口(令和4年 10 月 1 日現在)」

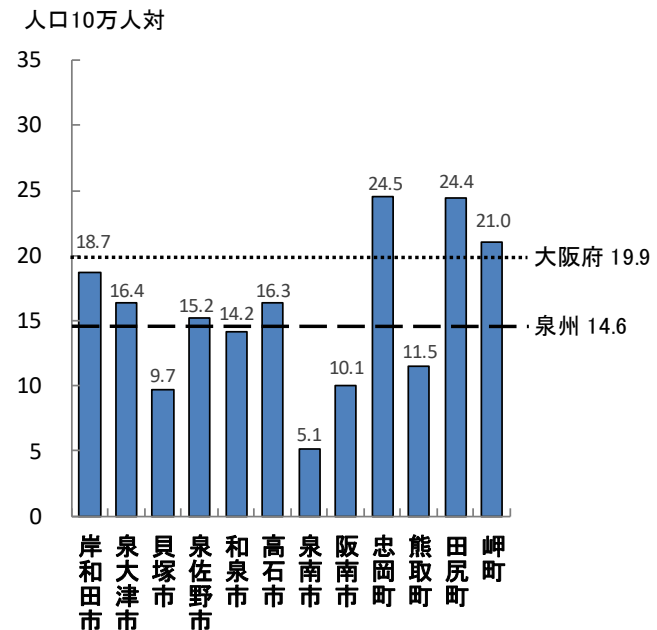
【在宅療養支援診療所数】

○令和5年 4 月 1 日現在、在宅療養支援診療所数は、127 施設（平成 29 年には 131 施設）となっており、人口 10 万人対でみると大阪府平均を下回っています。

図表 3-7-29 在宅療養支援診療所数(令和5年)

市町村	施設数
岸和田市	35
泉大津市	12
貝塚市	8
泉佐野市	15
和泉市	26
高石市	9
泉南市	3
阪南市	5
忠岡町	4
熊取町	5
田尻町	2
岬町	3
泉州	127
大阪府	1,752

図表 3-7-30 人口 10 万人対在宅療養支援診療所数(令和5年)



出典 近畿厚生局「施設基準の届出受理状況(全体)」
 ※「人口 10 万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部
 「大阪府の推計人口(令和4年 10 月 1 日現在)」

(2) 在宅医療におけるグループ診療に関する状況

【グループ診療^{注1}の実施状況】

○令和5年7月1日現在、グループ診療を実施している一般診療所は4.9%（令和元年には0%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

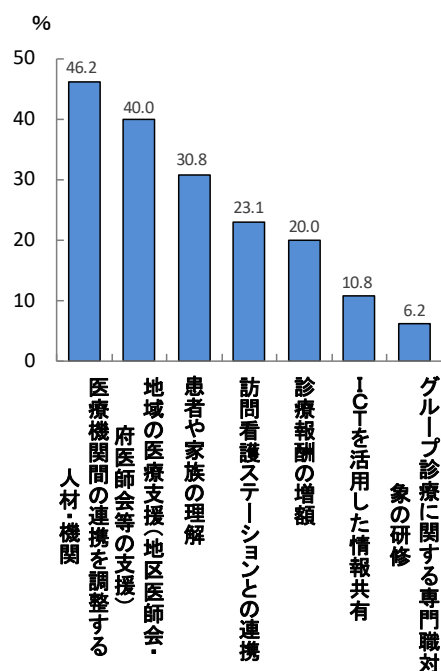
【グループ診療の円滑な実施に必要な事項】

○令和5年7月1日現在、グループ診療の円滑な実施に必要な事項について、一般診療所では、「医療機関間の連携を調整する人材・機関」が最も多く、次いで「地域の医療支援（地区医師会・府医師会等の支援）」の順に多くなっています。

図表 3-7-31 グループ診療の円滑な実施に必要な事項（令和5年）

グループ診療の円滑な実施に必要な事項	一般診療所			病院		
	施設	調査回答施設合計	割合	施設数	調査回答施設合計	割合
医療機関間の連携を調整する人材・機関	30	65	46.2%	20	30	66.7%
地域の医療支援（地区医師会・府医師会等の支援）	26	65	40.0%	13	30	43.3%
患者や家族の理解	20	65	30.8%	13	30	43.3%
訪問看護ステーションとの連携	15	65	23.1%	9	30	30.0%
診療報酬の増額	13	65	20.0%	14	30	46.7%
ICTを活用した情報共有	7	65	10.8%	11	30	36.7%
グループ診療に関する専門職対象の研修	4	65	6.2%	8	30	26.7%

図表 3-7-32 グループ診療の円滑な実施に必要な事項【一般診療所】（令和5年）



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

注1 グループ診療：「24 時間 365 日の緊急時や看取りに対応するため、1 人の在宅療養者を複数の医師が連携して診療すること」と定義しています。

4. その他（公衆衛生活動等）

（1）公衆衛生活動（産業医、学校医、予防接種等）の実施状況

【産業医の出務有無】

○令和4年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で産業医の出務経験のある医師は14.9%（平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間には18.8%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【学校医の出務有無】

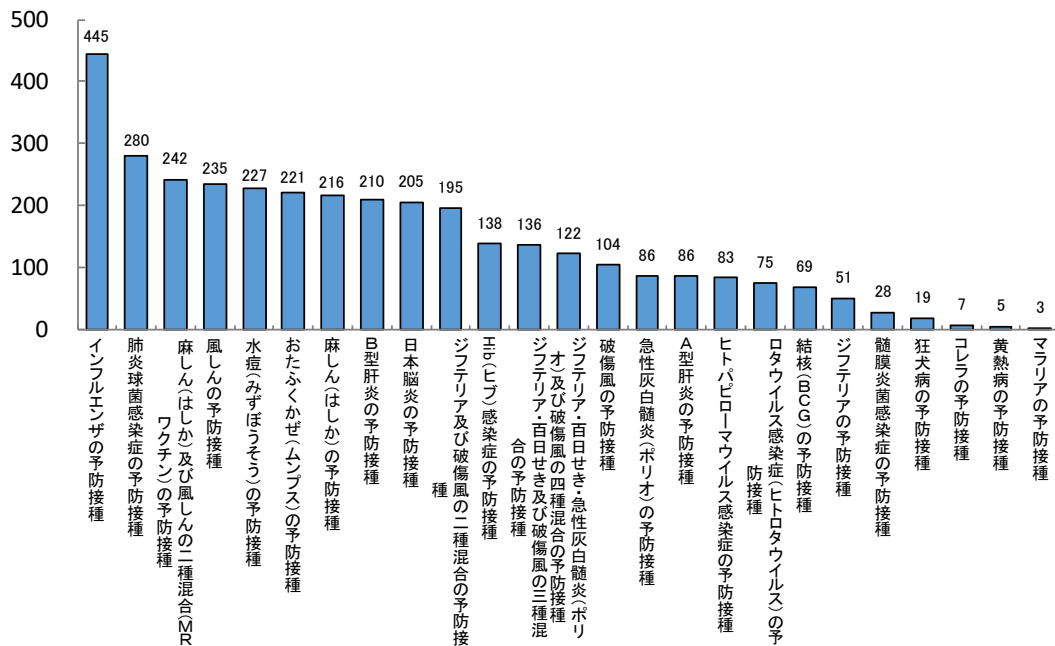
○令和4年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で学校医の出務経験のある医師は32.4%（平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間には26.5%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【予防接種実施医療機関数】

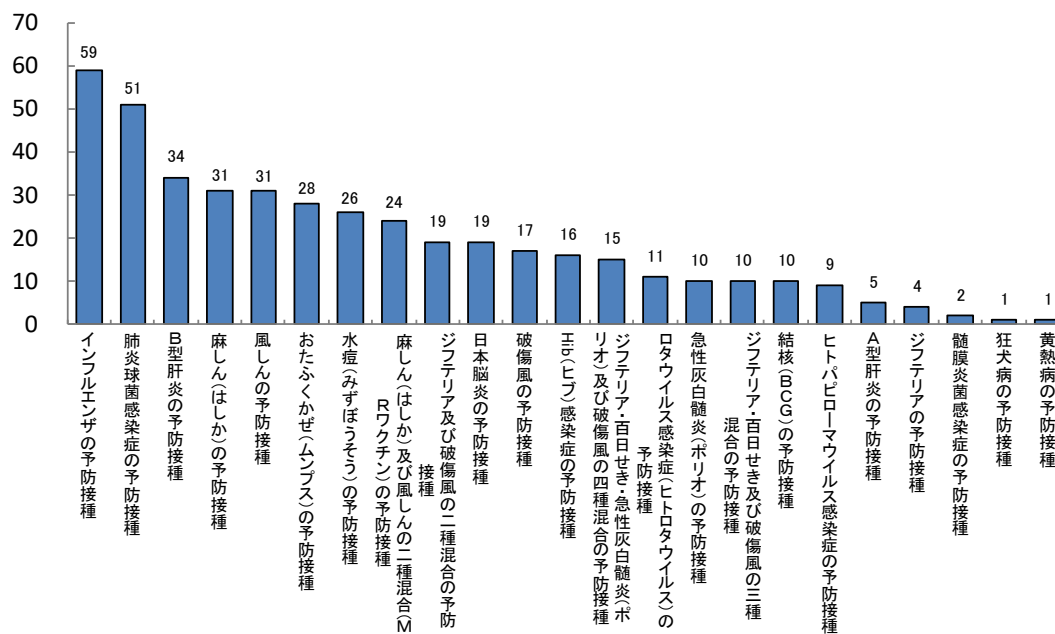
○令和5年7月1日現在、一般診療所において、ワクチン別に見ると最も多く予防接種が行われているのが「インフルエンザ」445施設、次いで「肺炎球菌感染症」280施設、次いで「麻しん（はしか）及び風しんの二種混合」242施設となっています。

○病院において、ワクチン別に見ると最も多く予防接種が行われているのが「インフルエンザ」59施設、次いで「肺炎球菌感染症」51施設、次いで「B型肝炎」34施設となっています。

図表 3-7-33 予防接種実施医療機関数【一般診療所】(令和5年)



図表 3-7-34 予防接種実施医療機関数【病院】(令和5年)



出典 大阪府「医療機関情報システム」

5. 医療機器

(1) 医療機器の実態

【医療機器の保有医療機関数】

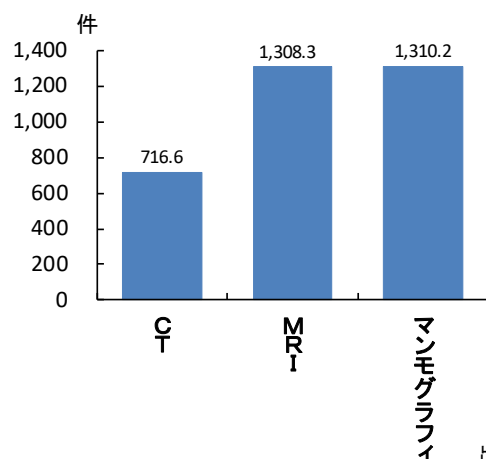
○令和5年7月1日現在、一般診療所における医療機器の保有割合は、CTは5.5%（令和元年には0.7%）、MRIは1.8%（同1.0%）、PETは0%（同0%）、マンモグラフィは0.8%（同5.3%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）は0%となっています（出典 大阪府「医療機関情報システム」）。

○病院における医療機器の保有割合は、CTは88.7%（令和元年には72.0%）、MRIは38.0%（同29.3%）、PETは0%（同2.7%）、マンモグラフィは18.3%（同17.3%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）は11.3%となっています（出典 大阪府「医療機関情報システム」）。

【医療機器の稼働率(医療機器1台当たりの検査件数)】

○令和元年度における、一般診療所での医療機器1台当たりの検査件数は、CTで716.6件（平成29年度には760.1件）、MRIで1,308.3件（同1,908.9件）、マンモグラフィで1,310.2件（同718.5件）となっています。

図表 3-7-35 医療機器1台当たりの検査件数【一般診療所】(令和元年)

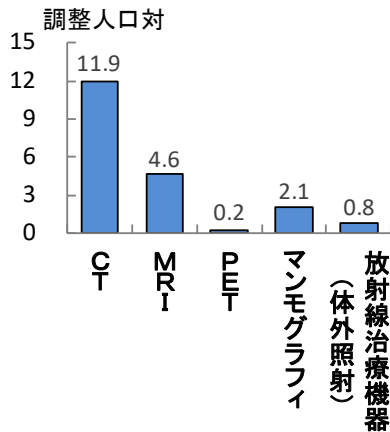


出典 厚生労働省「医療機器の調整人口あたり台数に係るに係るデータ集・グラフ」

【調整人口当たりの医療機器保有台数^{注1}】

○令和2年の調整人口当たりの医療機器の保有台数は、CTが11.9と最も高くなっています。

図表 3-7-36 調整人口当たりの医療機器保有台数(令和2年)



出典 厚生労働省「医療機器の調整人口あたり台数に係るに係るデータ集・グラフ」

(2) 医療機器の共同利用のあり方について

【保有している医療機器の中で他の医療機関と共同利用を行っているもの】

○令和5年7月1日現在、保有する医療機器の共同利用を行っている病院の割合は、CTで22.2%(令和元年には25.0%)、MRIで50.0%(同42.9%)、PETで100%(同50.0%)、マンモグラフィで50.0%(同25.0%)、放射線治療機器(リニアック及びガンマナイフ)で0%となっています。

図表 3-7-37 共同利用を行っている医療機器(令和5年)

医療機器	一般診療所					病院				
	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		調査回答施設合計	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		調査回答施設合計
	施設数	割合	施設数	割合		施設数	割合	施設数	割合	
CT	0	0%	8	100%	8	6	22.2%	21	77.8%	27
MRI	0	0%	3	100%	3	6	50.0%	6	50.0%	12
PET	0	—	0	—	0	1	100%	0	0%	1
マンモグラフィ	0	—	0	—	0	3	50.0%	3	50.0%	6
放射線治療機器(リニアック及びガンマナイフ)	0	—	0	—	0	0	0%	3	100%	3

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

注1 調整人口当たりの医療機器保有台数：「地域の医療機器の台数/地域の人口（10万当たり）/地域の標準化検査率比」と定義しています。

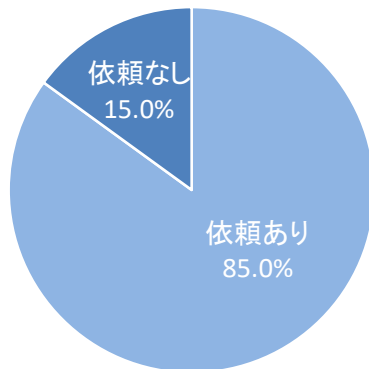
【医療機器の共同利用加算の算定有無】

○令和5年7月1日現在、医療機器の共同利用管理加算を算定している病院の割合は、7.1%（令和元年には2.4%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

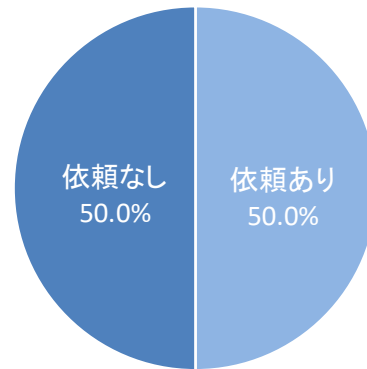
【他の医療機関への画像検査依頼の有無】

○令和5年7月1日現在、他の医療機関へ画像検査依頼をしたことがある医療機関の割合は、一般診療所で85.0%、病院で50.0%（令和元年には85.4%、58.5%）となっています。

図表 3-7-38 他の医療機関への画像検査依頼の有無【一般診療所】(令和5年)



図表 3-7-39 他の医療機関への画像検査依頼の有無【病院】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【自院に検査機器がない場合の対応】

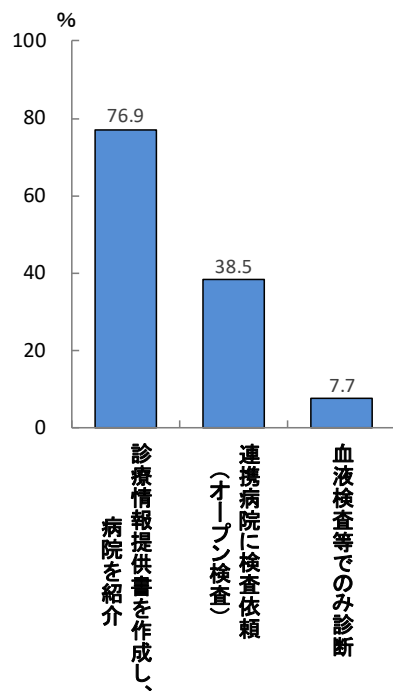
○令和5年7月1日現在、医療機関における自院に検査機器がない場合の対応は、診療情報提供書を作成し病院を紹介する医療機関が、一般診療所で76.9%、病院で73.3%（令和元年には70.4%、86.0%）、連携している病院に検査を依頼（オープン検査）する医療機関が一般診療所で38.5%、病院で23.3%（同40.7%、34.9%）、血液検査等でのみ診断する医療機関が、一般診療所で7.7%、病院で3.3%（同13.0%、7.0%）となっています。

図表 3-7-40 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和5年)

自院に検査機器がない場合の対応	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答施設合計	割合	施設数	調査回答施設合計	割合
診療情報提供書を作成し、病院を紹介	50	65	76.9%	22	30	73.3%
連携病院に検査依頼（オープン検査）	25	65	38.5%	7	30	23.3%
血液検査等でのみ診断	5	65	7.7%	1	30	3.3%

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

図表 3-7-41 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【医療機器別共同利用希望医療機関の割合】

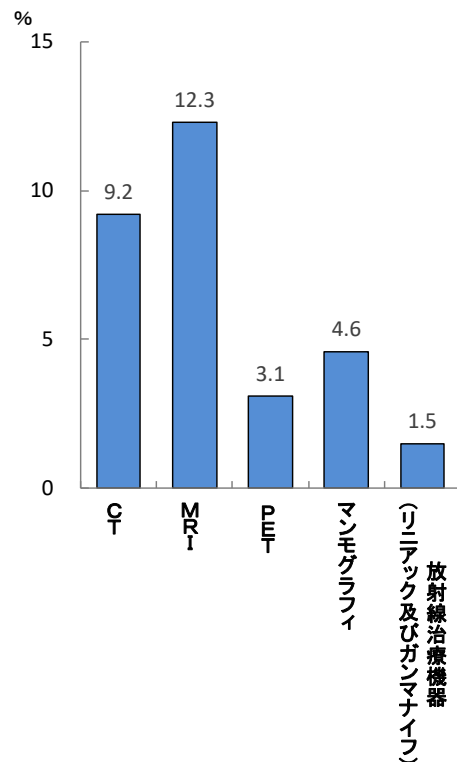
○令和5年7月1日現在、他の医療機関における医療機器の共同利用を希望する一般診療所の割合は、CT では9.2%（令和元年には24.1%）、MRI では12.3%（同25.9%）、PET では3.1%（同13.0%）、マンモグラフィでは4.6%（同13.0%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）では1.5%となっています。

○他の医療機関における医療機器の共同利用を希望する病院の割合は、CT では3.3%（令和元年には2.3%）、MRI では20.0%（同23.3%）、PET では16.7%（同14.0%）、マンモグラフィで3.3%（同2.3%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）では3.3%となっています。

図表 3-7-42 医療機器別共同利用希望医療機関の割合（令和5年）

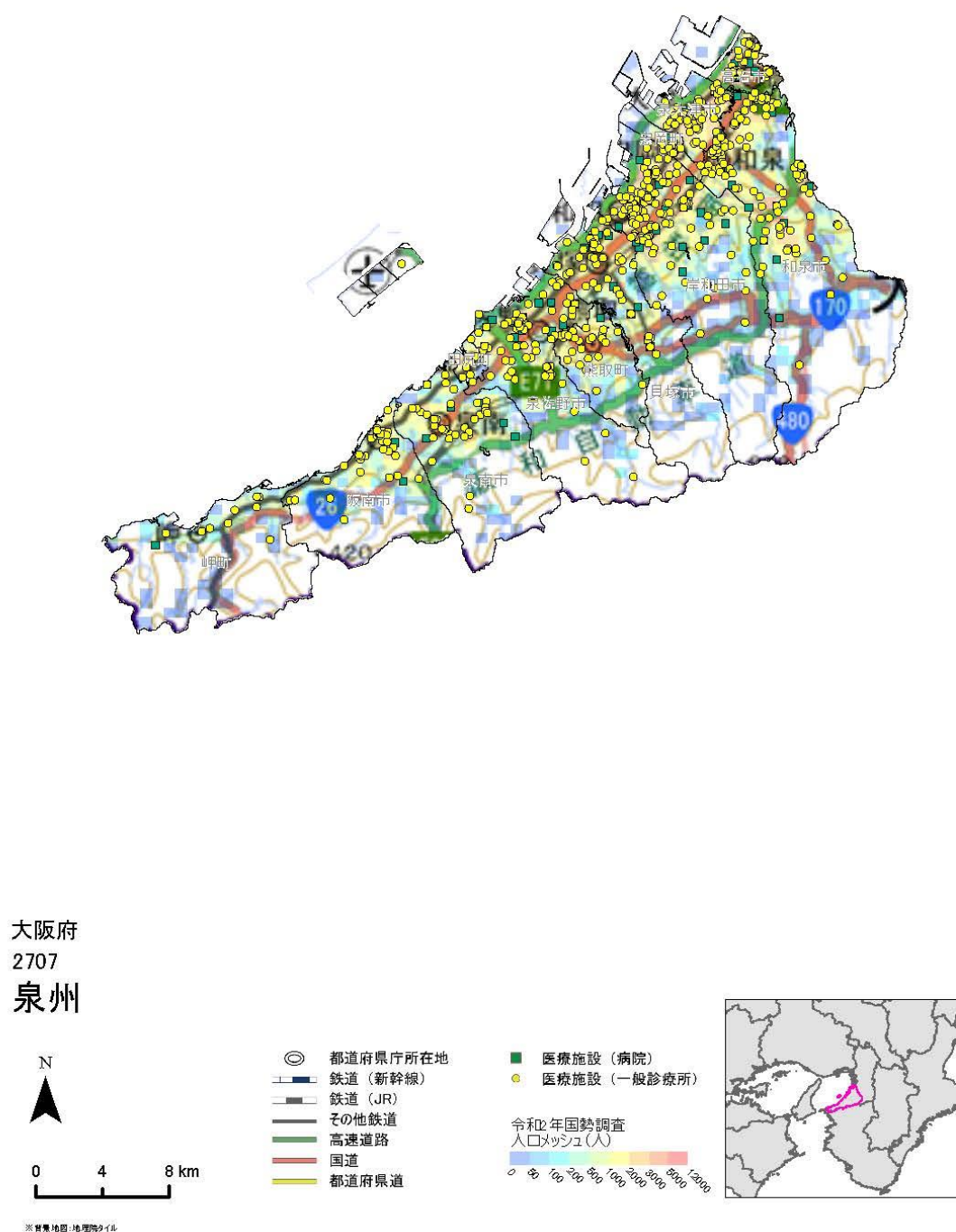
医療機器	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答 施設合計	割合	施設数	調査回答 施設合計	割合
CT	6	65	9.2%	1	30	3.3%
MRI	8	65	12.3%	6	30	20.0%
PET	2	65	3.1%	5	30	16.7%
マンモグラフィ	3	65	4.6%	1	30	3.3%
放射線治療機器 (リニアック及びガンマナイフ)	1	65	1.5%	1	30	3.3%

図表 3-7-43 医療機器別共同利用希望医療機関の割合【一般診療所】（令和5年）



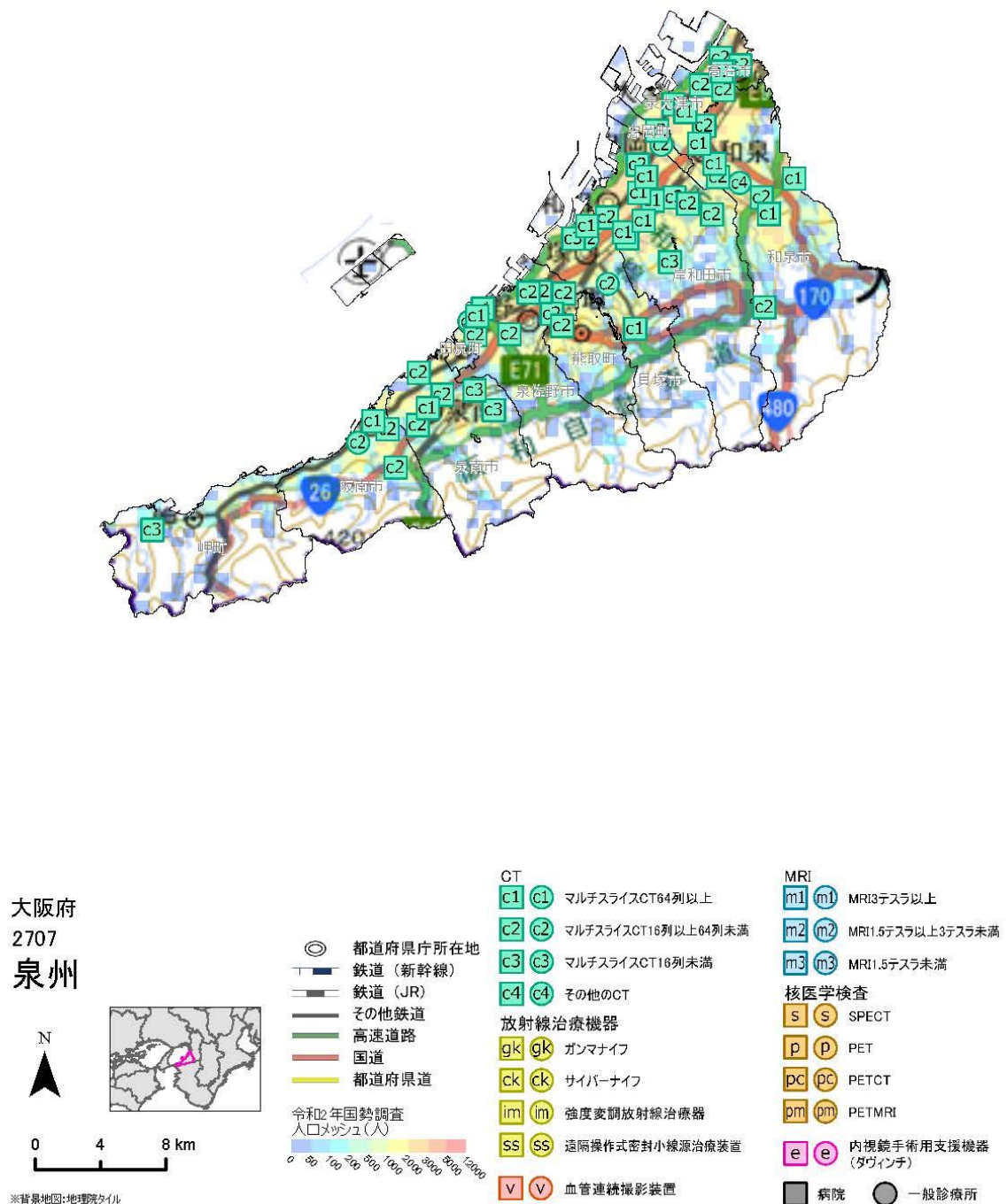
出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

医療機関(病院/一般診療所)の所在地マップ



出典 厚生労働省「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次(前期)～」

医療機器保有医療機関の所在地マップ



出典 厚生労働省「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次(前期)～」